

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育センターみらい		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 4日 ～ 2026年 1月 23日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26 (回答者数)	19
○従業者評価実施期間	2026年 1月 4日 ～ 2026年 1月 23日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの特性を踏まえた関りや対応ができる。	・個別の支援計画を、担当支援職員の中で共有している。 ・児童発達支援から受け入れてきたお子さんがほとんどなので、小さい時からの特性や成長を把握できている。	・成長と共に、課題や特性の現れ方が変わってくるので、毎回の反省時には、対応について各職員が一貫して把握できるよう話し合う。
2	・面談や相談などに、適宜・適切に応じることができる。	・送迎の際に、ちょっとした会話の中でも、気になることがあれば、面談の時間を設けたり、支援計画の見直しやモニタリングの際にも、丁寧に話を聞くようにしている。	・相談事、心配事など、遠慮なく話していただける雰囲気や職員の声かけのみならず、2026年度からは公式LINEなどを通して、気軽に利用しやすい媒体も検討する。
3	・一人一人がやりたい事、楽しめる活動に付き合ってもらえる支援がある。	・毎回の流れを一貫し、子ども一人一人が見通しを持ちやすい活動内容にしている。	・個々の特性やこだわりも含め、リラックスして過ごせる活動の流れや人的環境などを保ち、引き続き支援していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事故防止、緊急時、防犯、感染症などに対応するマニュアルの周知が不十分。	・マニュアルはいつでも閲覧ができる状態にしているが、保護者の方が送迎の際にしっかりみていただけるような時間が無い。	・新規利用の方はもちろん、継続利用の方にも、年度初めには必ずご一読をお願いする。また、より簡単に重要な部分だけでも目を通せるよう抜粋のシートなど作ることを検討する。
2	・ホームページ、SNS等で、活動内容や行事予定、連絡体制等の情報発信ができていない。	・毎月の利用予定日を提出していただくお便りで、月ごとの簡単な子ども達の様子などをお伝えするにとどまっている。	・実際の支援業務が最優先になり、こまめな情報発信ができる人員の確保が難しいのが現状であるが、ホームページやSNSなど、保護者の方が手軽に確認しやすい方法でお伝えできるよう検討する。
3	・保護者間の交流の機会がない。情報共有ができる場がない。	・各ご家庭により、保護者の方の多忙な様子もうかがわれ、交流の機会や情報交換、勉強会等のニーズがどれくらいあるかを把握できていない。	・アンケートへの回答やご要望を出していただける媒体を検討し、ご要望の多い企画を立てられるようにする。